

# 決算



平成 30 年度の町の決算がまとまりました。昨年度 1 年間、町のお金がどのように使われたのかお知らせします。

平成 30 年度一般会計

## 決算の説明

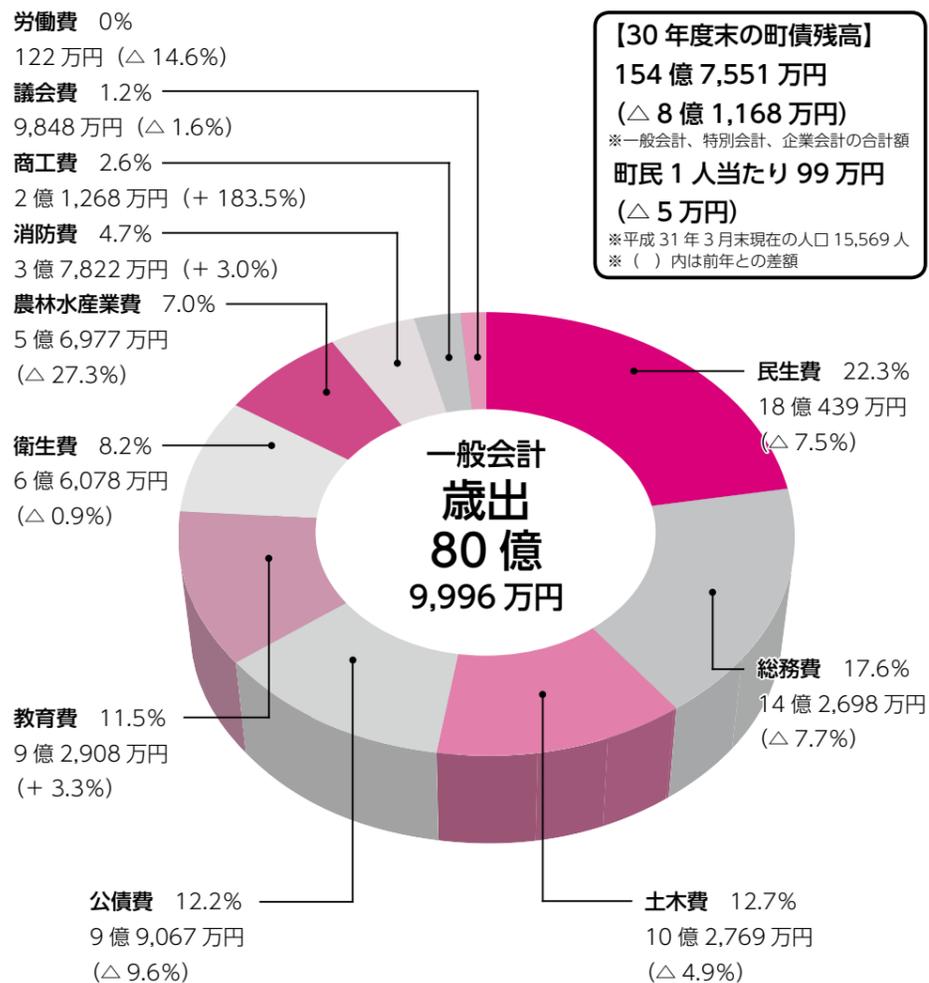
(主なもののみ)

### 【歳入】

- ▶町税…町民税および固定資産税の減
- ▶地方交付税…普通交付税の減
- ▶県支出金…前年度の利用自粛牧草処理円滑化事業補助金の減
- ▶繰入金…前年度の国営和賀中部土地改良事業償還に伴う基金繰り入れの減

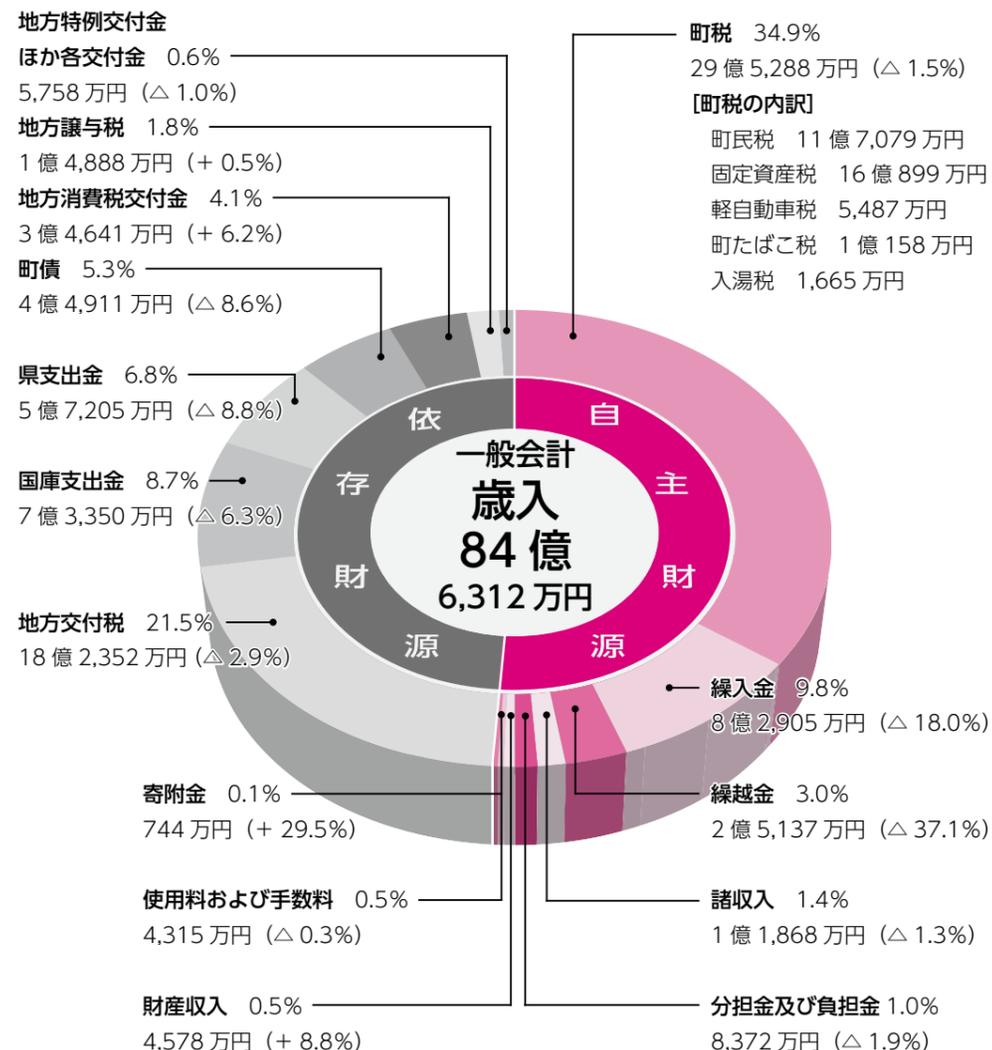
### 【歳出】

- ▶民生費…駒子の湯改修事業、金ヶ崎学童保育所建設事業の完了による減
- ▶総務費…六原駅周辺まちづくり基本構想策定事業や田園バスの購入による増額があったが、財政調整基金への積立てや選挙費の減額により全体として減
- ▶農林水産業費…利用自粛牧草集中保管施設撤去工事の完了、国営和賀中部土地改良事業償還金の減額による減
- ▶土木費…町道新設工事の増額があったが、除雪対策費の減額により全体として減



**【30 年度末の町債残高】**  
**154 億 7,551 万円**  
 (△ 8 億 1,168 万円)  
※一般会計、特別会計、企業会計の合計額  
**町民 1 人当たり 99 万円**  
 (△ 5 万円)  
※平成 31 年 3 月末現在の人口 15,569 人  
 ※ ( ) 内は前年との差額

※各項目で四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。  
 ※ ( ) 内は対前年比。



## 特別会計・企業会計の決算状況

町には特定の収入を特定の支出に充てて一般会計とは別に経理する特別会計がありますが、特別会計はすべて黒字で運営されています。

また、町には公営企業会計として水道事業、下水道事業があります。これらの決算についても収益的収支において水道事業は 3,400 万円、下水道事業は 8,700 万円の当年度純利益を計上しており、健全な経営に努めています。

しかし、下水道事業会計については、一般会計からの繰入金が多額となっており、この繰入金を減らしていくことが今後の課題です。

### ▶平成 30 年度特別会計の決算額

特別会計名	歳入	うち一般会計繰入額		歳出	
		金額	割合		
国民健康保険	13 億 6,952 万円	1 億 322 万円	9.6%	13 億 2,789 万円	
訪問看護ステーション	2,225 万円	480 万円	21.6%	2,108 万円	
介護保険	介護保険事業勘定	14 億 5,262 万円	2 億 1,328 万円	14.6%	14 億 2,612 万円
	看護サービス事業勘定	334 万円	50 万円	15.0%	309 万円
国民健康保険診療施設	医科勘定	3 億 745 万円	6,781 万円	18.2%	2 億 9,570 万円
	歯科勘定	4,634 万円	1,117 万円	24.1%	4,102 万円
後期高齢者医療	1 億 3,998 万円	4,093 万円	29.2%	1 億 3,904 万円	
合計	33 億 4,150 万円	4 億 4,171 万円	13.2%	32 億 5,394 万円	

### ▶平成 30 年度企業会計の決算額

企業会計名	収入	うち一般会計繰入額		支出
		金額	割合	
水道事業	収益的収支 (税抜)	3 億 4,872 万円	342 万円	3 億 1,517 万円
	資本的収支 (税込)	147 万円	147 万円	9,245 万円
下水道事業	収益的収支 (税抜)	8 億 5,437 万円	3 億 9,448 万円	7 億 6,779 万円
	資本的収支 (税込)	3 億 1,372 万円	3,771 万円	6 億 2,667 万円

※資本的収支で収入が支出に対して不足する額については、収益的支出の「減価償却等の非現金支出 (損益勘定保留資金)」や前年度からの繰越資金、当年度純利益などで補填しています。

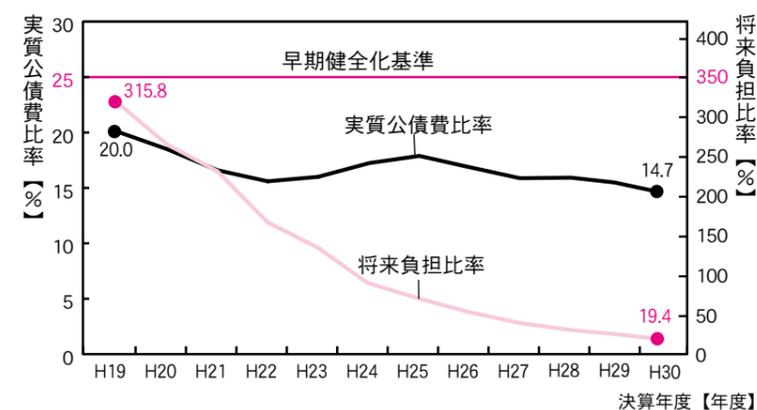
## 町財政は健全 各指標とも早期健全化基準をクリア

自治体の財政状況をチェックし、財政破綻を未然に防ぐため、国は平成 19 年、いわゆる財政健全化法を定めました。この法律では財政指標により自治体の財政状況をチェックし、基準 (早期健全化基準など) を上回った自治体には、財政運営に当たり様々な制約が課せられます。

町の平成 30 年度決算に基づく、これらの指標はいずれも「早期健全化基準」を下回り、健全な財政運営がなされています。

なお、実質公債費比率については、借金返済のピークを過ぎたため昨年度から 0.7 ポイント減少しており、今後も減少していく見込みです。

### グラフ 主な財政指標の推移



### 【用語説明】

▶**実質公債費比率**…年間の借金返済額が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの過去 3 年間の平均値

▶**将来負担比率**…現在の借金総額等が町の標準的な年間収入の何%に当たるかを示したものの